

横須賀市における民官連携の取り組み

横須賀市長 上地克明

横須賀市の位置と特徴

横須賀市の位置と特徴



- 面積：約100Km²
- 人口：367,015人
(令和7年10月1日現在)
- 中核市





米国国書受領之図

橫須賀港一覽圖



横須賀港一覽図



海上自衛隊

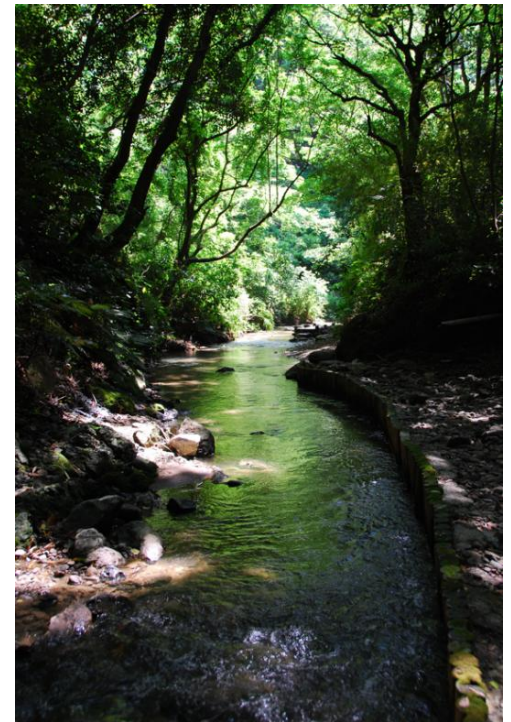


どぶ板通り



谷戸の風景









FLY ANA!
**WINDSURFING
WORLD CUP**
YOKOSUKA MIURA

2023.11.10_{Fri}—11.14_{Tue}



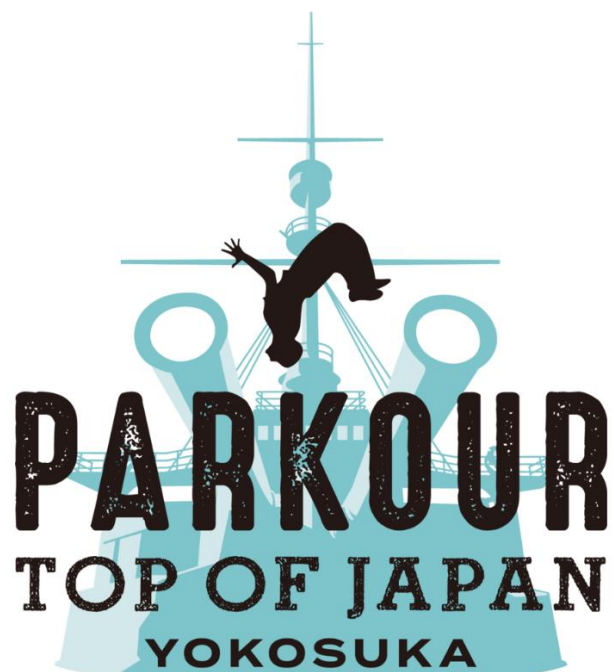




マイナビ
JapanCup
BMX FREESTYLE
YOKOSUKA



PARKOUR TOP OF JAPAN YOKOSUKA





ストリートダンス大会（JAPAN DANCE DELIGHT）



F・マリノスeSportsチームによる実践指導



YOKOSUKA e-Sports PROJECT PC組み立てなどのサポート教室



YOKOSUKA e-Sports PROJECT ゲーミングPCの無償貸与



YOKOSUKA INNOVATION MUSIC AUDITION 2019



ヨコスカ街なかミュージック



民官連携の取り組み

日本初のPFI方式による公園「長井海の手公園 ソレイユの丘」

経緯

- H17 日本初PFI方式を導入した都市公園
- H27 指定管理者制度導入
- H29 キャンプ場オープン
- R5 リニューアルオープン Park-PFIの活用

課題

- 公園内の施設の老朽化
- 利用者層の偏り
- フードの選択肢の少なさ
- 接客サービス等の質
- 地域資源の活用が不十分

位置



方向性

- ブランド力強化
- 地域活性化





長井海の手公園



SOLEIL
ソレイユの丘

芸術を通じた地域の活性化を目指す「アーティスト村（HIRAKU）」

課題

- 人口減少や高齢化
- 空き家や遊休地の増加

方向性

- 谷戸地域再生
- 遊休不動産の活用
- 地域の賑わい創出

位置



天空の廃墟から住宅×趣味・仕事、なりわい住宅へ「月見台住宅」

課題

- 人口減少や高齢化
- 空き家や遊休地の増加

方向性

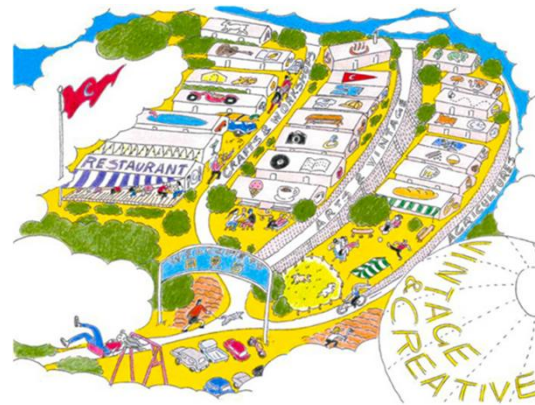
- 谷戸地域再生
- 遊休不動産の活用
- 地域の賑わい創出
- ライフスタイルの変化への対応
- 関係人口の増加

位置



月見台住宅*

TSUKIMIDAI NARIWAI HOUSING



横須賀復活のラストピース「浦賀駅前周辺地区活性化事業」

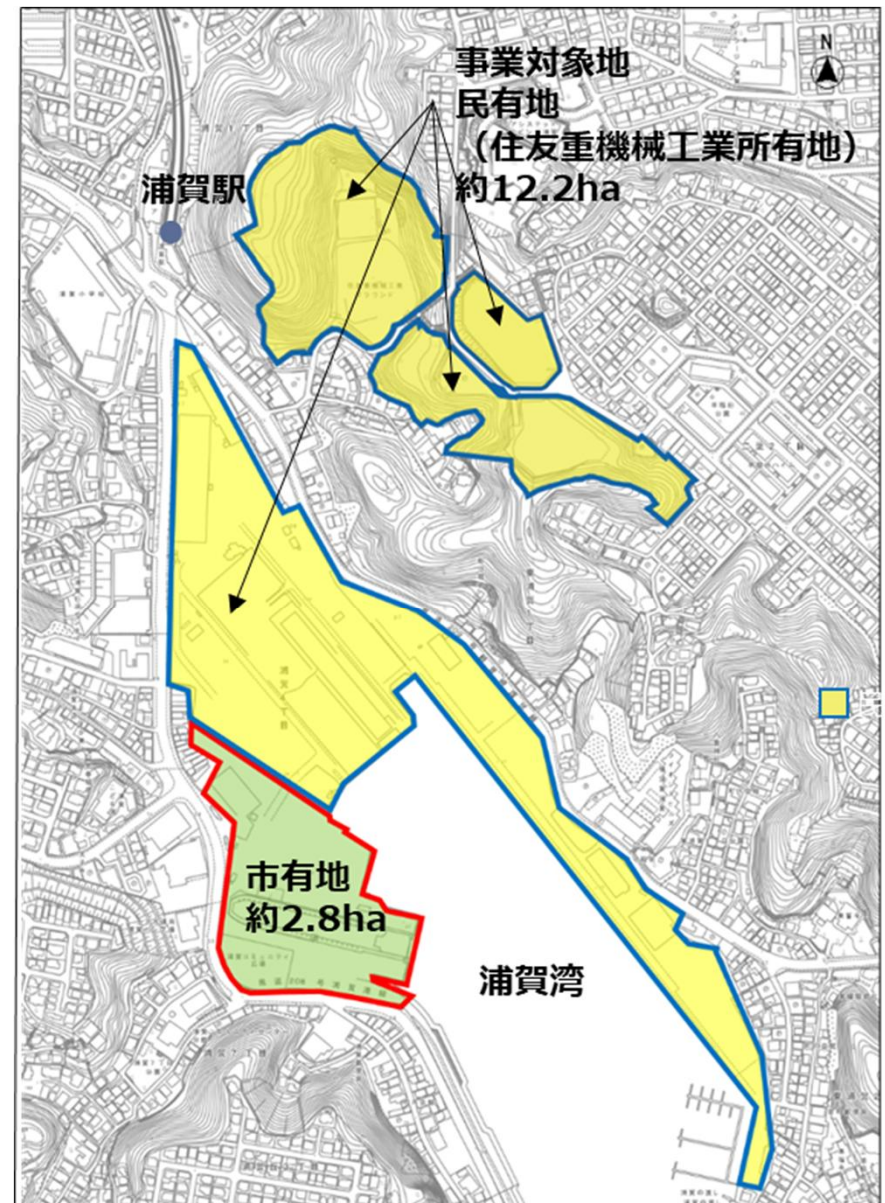
課題

- 産業の撤退
- 人口減少
- まちの衰退

方向性

- 民有地と市有地の一体開発
- 新しい都市拠点の形成

位置





ホテル、マンション、商業施設、駅直結ペデストリアンデッキ



イベント広場・ミュージアム・カフェ・行政センターなど

民官連携の体制づくり

民官連携の体制づくりについて

- 窓口がわかりにくいなど民間事業者の課題を取り除き、事業展開の機会を得る
- 民官連携の姿勢を強く発信

民官連携 の推進

利便性の向上

担当部署が不明な場合等に

民官連携推進担当課が市のワンストップ窓口となり、提案しやすい環境を整備

規制緩和

連携を進めるうえで支障となる、時代の変化や実情に合っていない

条例・規則等の柔軟な見直し

新たな連携の実現

「実現が難しいと思われる提案」や「ワクワクする夢のような提案」など、

いかなるご要望に対しても、**実現に向けた前向きな取り組み**

情報発信 の強化

専用WEBサイト（OPEN GATE YOKOSUKA）による情報発信

遊休地・施設の情報、企業版ふるさと納税を活用したい事業 など

情報発信の強化

- 民官連携推進の専用WEBサイト <https://www.yokosuka-minkan-renkei.jp/>
- 連携テーマの掲載とあわせて、連携に向けた市の姿勢、これまでの連携事業、民間事業者の声などをWeb公開



情報発信の強化

- 庁内広報「OPEN GATE YOKOSUKA通信」の発行（年4回）
- 連携手法のノウハウを蓄積し、庁内で共有
- 民間事業者と共に取り組んだ実績や経験が、職員のスキルアップや自信に

OPEN GATE YOKOSUKA通信

2024.9.13

令和6年度 民官連携に向けてチャレンジしたいこと

昨年度より発行を開始した「OPEN GATE YOKOSUKA 通信」も、2年目を迎えました。昨年度は「気づかずやってる？！企業様への対応がダメなこと！！」「企業様ふるさと納税って何？」など、様々なテーマで民官連携情報をお届けし、皆様から多くの反響をいただきました。誠にありがとうございます！さて、新年度最初のテーマは「令和6年度民官連携に向けてチャレンジしたいこと」です。今号では、そのうちの1つである「遊休地・施設の利活用推進」について、昨年度からの取り組みを交えながら紹介します。

遊休地・施設の利活用推進

前号では「活用調整等、長期的な折衝を要する案件が増加している」ことをお伝えしました。市のハード事業における民官連携について、今年度事業を開始した案件、道筋がついてきた案件のいくつかをご紹介します。

事例1 #ジハングン（北下浦海岸通り駐車場）

～海水浴場で賑わったかつての海岸をアートで再生～

野比海岸・北下浦海岸通りに新たなアート&フォトスポット「ジハングン ヨコスカ」が誕生しました。「ジハングン」とは「自動販売機の群」が由来の造語です。

福岡県糸島にて、約5年間で150万人が訪れた伝説のアート&フォトスポット「ジハングン」をプロデュースした「野比海岸ジハングンチーム」が、北下浦海岸通り駐車場の指定管理者となり、駐車場と海岸沿いの遊歩道に、7種類のフォトジェニックなアートコンテンツ（巨大アートプランク、自動販売機の群れ、屏風アート、箱文字アート、堤防壁面、アルファベット階段等）を設置しました。

当該地は、かつて海水浴場として賑わっていましたが、近年の砂浜消失により駐車場の稼働率が低下していました。風光明媚な景色×アートでこの地を鮮やかに彩り、再び多くの人が訪れるスポットになることに期待しています！

参考

前年7月対比
入庫台数：392%増加
駐車売上：308%増加



事例2 中央医療大学(仮称)の開設-YRPへの大学進出が決定！ ～YRPの新たな挑戦！～

2027年4月開校予定

民官連携の取り組みによって、診療放射線技師養成の専門学校「中央医療技術専門学校」(学校法人中央医療学園)が、大学に改編してYRP(横須賀リサーチパーク)に、令和9年4月に開校する予定となりました！

大学進出決定までの経過

- 令和4年9月 中央医療学園から横須賀市へ大学候補地の打診
- 市から複数の大学候補地を紹介、YRPに関心をもちたい。
- 令和5年11月 中央医療学園がYRP及び物件所有者であるNECと協議を開始
- 令和6年3月 中央医療学園とNECが売買契約を締結

横須賀市進出の決定理由

1. 教育環境：海や山といった豊かな自然、YRPの静かな学習環境
2. 条件面：都心からのアクセスの良さ、既存建物がリニューアル条件に合致
3. 産官学連携：将来的にYRPの企業や横須賀市との多様な連携が期待できる

大学進出に関する記者会見の場では、中央医療学園理事長より「市職員の丁寧な対応と横須賀市というまちに対する熱い想いが決め手になった」とのお話もあり、当該で掲げる「オープン・チャレンジ・フレンドリー」が実を結んだ好事例となりました！



事例3 田浦月見台活用事業

～古いモノに価値を見出しながらクリエイティブな生活を！～

2023年1月に「旧市営田浦月見台住宅」の活用事業者として株式会社エンジョイワークスを選定しました。

魅力的な新しい街へ再生と地域コミュニティの活性化を目的に、民官連携事業として廃止後の市営住宅を店舗と住居を併用した「なりわい居住のまち」として活用することになりました。リノベーションのテーマは「ヴィンテージ&クリエイティブ」。「店舗兼住居」もしくは「住居専用」として賃貸入居者を募っており、7月の現地見学会には市内外から関心を寄せる約100人が集まりました。

2025年4～7月に物件引渡予定を目指します。



事例4 (仮称) 大矢部陣地整備・運営事業 ～人と人、人と自然をつなぐウェルビーイング・プレイス～

旧日本軍の弾薬庫として使われ、現在は国有地となっている「大矢部弾薬跡地」が、2024年3月に、市へ無償譲与される方針が決定しました。

この跡地については豊かな自然を活かした都市公園として再整備を進める予定です。

今後は、貴重な自然環境や歴史環境を活かしながら同時に収益性も実現するという複合機能を発揮させるため、「Park-PFI方式」に「DB(デザインビルド)方式」「指定管理方式」を組み合わせることを想定し、令和6年度に事業者を公募・選定を行い、令和9年度以降の開業を目指します。



令和6年度実績 (令和6年7月1日時点)

事業者抽付件数/連携実現件数(案件ベース)

分類	R5年度	R6年度 6月時点	うち実現数
1 福祉・コミュニティ	13	2	0
2 子育て・教育	13	2	0
3 経済・まちづくり	36	4	0
4 観光・にぎわい	22	4	2
5 環境	10	1	0
6 その他	10	1	0
合計	98	14	2

きっかけ	R5年度 6月時点	R6年度 6月時点
A 民官連携WEBサイト	16	6
B 直接の問い合わせ	16	1
C 市からの営業	23	0
D 他部署からの紹介	15	1
E 他事業からの関係性	8	1
F マッチングサイト	10	2
G その他	10	3
合計	98	14

- ▶ 昨年度同様、経済や観光系の連携提案が多い
- ▶ 民官連携WEBサイト経由の問い合わせ・接触が多い(約4割)

受け身だけでなく、積極的な営業や折衝の機会を持つことが求められます!!



昨年度も多くの部署の皆さまにご協力をいただき、庁内の垣根を超えて民官連携を推進することができました。事業者様からのご提案から連携を進めた事例や、各部署からの課題を発信することで、連携につながった事例など様々な事例が、今年度は更に多くの部署との庁内連携を深めていきたいと考えています。

民官連携の合言葉は

「オープン・チャレンジ・フレンドリー」です。

次回もお楽しみに!!!!



民官連携 WEB サイトは、こちらからアクセス



変化を力に進むまち。



横須賀市
Yokosuka City